

# 平成25年度 政務調査費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	砂田 尚子、細川 昭広、柏木 隆寿
調査実施年月日	平成25年11月22日(金)
調査先 自治体名等	徳島県 徳島市 公益財団法人徳島経済研究所
調査項目	「中心市街地活性化について」(LEDアート、マチ☆アソビ、とくしまマルシェ)
調査目的	中心市街地の活性化はどの自治体も課題として取組んでるが、行政主体で推進すると、どうしても補助金などの使用目的が制限され地域、商店街などの意向とマッチしない施策が多々ある。徳島市は民間シンクタンクが旗振り役となり地域活性化に尽力していることから、本市の今後のまちづくりの指標となると考え調査研究する。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:257,966人 (H25.4.1現在) 行政面積:191.68km<sup>2</sup></p> <p>2 視察内容</p> <p>公益財団法人徳島経済研究所は徳島市に本店を置く阿波銀行のシンクタンクとして徳島県の経済活動・地域活性化に寄与する目的で設立された。平成15年に日本銀行徳島事務所長の経験がある田村耕一氏を専務理事に迎え徳島市の経済活性化に地域の民間シンクタンクとしてどのように取組むべきかの模索が始まった。従前の調査・研究、地域経済レポートを発行することが主な事業のシンクタンクと違い実際に地域の町おこしの活動も行う「行動するシンクタンク」として有名であり銀行系シンクタンクとしては全国で初めて公益財団法人の認定を受けた。青色発光ダイオード発祥の地として市中心部川沿いのお洒落なロケーションを生かした「徳島LEDアートフェスティバル」や同じく川沿いのボードウォークを活用し地域の農業を結びつけた地産地消の取り組み「とくしまマルシェ」、を実施し毎月末開催のマルシェでは平均12,000人の集客がある。また、徳島県出身の近藤光氏が市内にアニメ制作スタジオを開設したことをきっかけにアニメイベント「マチ☆アソビ」をH21年から毎年開催し県内外から来場者が年々増加しており宿泊や飲食で市内経済活性化に寄与している。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	民間シンクタンクとは、現在の経済状況を調査分析し今後の指標をあらわすことが本来の活動ではあるが、地銀や信金系などの地域経済を詳細に把握しているシンクタンクは徳島経済研究所のように、もっと地域経済活性化に寄与する具体的な行動をすべきと感じた。「徳島LEDアートフェスティバル」は「LEDによる徳島経済活性化研究会」から、「とくしまマルシェ」は「徳島県の農業ビジネス活性化研究会」から徳島経済研究所が立ち上げたし、アニメイベント「マチ☆アソビ」も同研究所が深く関わっている。実際の運営はLEDに関しては徳島市を事務局とする実行委員会を設置し、またマルシェは運営に長けた民間事業者を選定し、研究所は実行支援委員会として企画等の支援を行っている。LEDは徳島の水と緑に光とアートを加えた文化的資源として、マルシェは農業ビジネスと観光・中心市街地の3つの活性化を目指して開催している。同じくアニメイベント「マチ☆アソビ」もアニメまつり実行委員会を組織するにあたり各行政機関・経済団体に働きかけを行い現在の形が出来上がった。今回の調査において感じたのは経済活性化や文化振興のための取り組みを民間主導で行う重要性和資金集めを含めた事業の立ち上げなど徳島経済研究所のようなリーダーシップを本市においては誰が取るのかということだった。